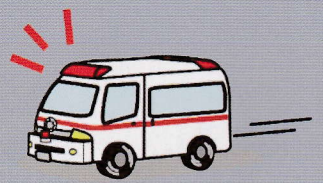
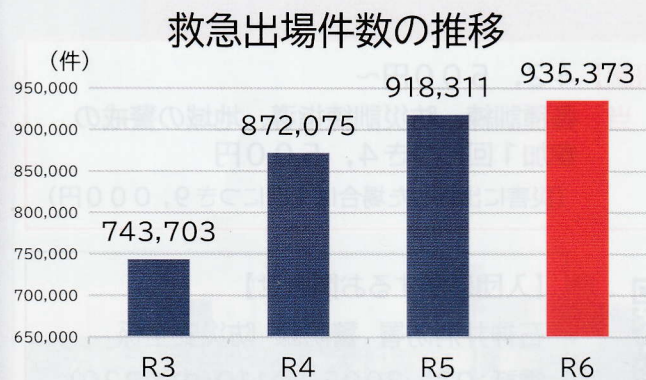


救急車は限りある資源です！！

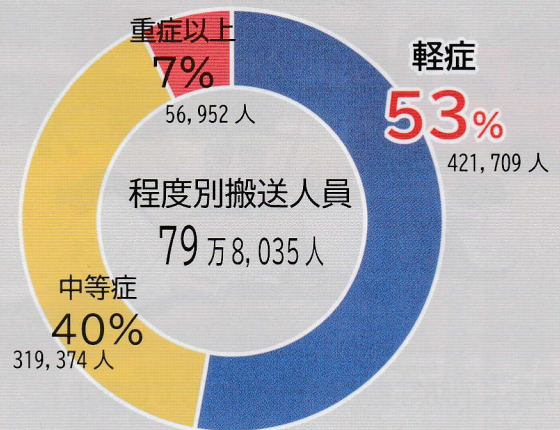


救急車の適時・適切な利用のお願い



東京消防庁管内で令和6年中の救急出場件数は過去最多を記録し、**93万5,373件**でした。

これは、救急車が**35秒に1回**出場したことになります。出場件数が増加すると、救急隊が到着するまでの時間が延びてしまい、救える命を救えなくなる恐れがあります。



救急搬送された方のうち、初診医師により軽症と判断された割合は**53%**で、**半数以上を占めています。**



救急車の適時・適切な利用

救急車を呼ぶか迷ったら...

・ 東京版救急受診ガイド

救急受診ガイドでは、症状ごとの質問に答えていくことで、病気や怪我の緊急度や受診する科目の確認ができます。



救急受診ガイド

サクサク簡単

ネットでガイド

東京版救急受診ガイド

救急受診ガイド 検索

インターネットで、病気やけがの緊急度、受診する時期、受診する科目などを確認できます。

・ 東京消防庁救急相談センター『#7119』

相談医療チーム（医師、看護師、救急隊経験者等の職員）が、24時間・年中無休で対応しています。



救急相談センター

電話で相談

東京消防庁救急相談センター

#7119

こちらからもつながります

23区 03-3212-2323 多摩地区 042-521-2323

・ 子供の健康相談室（小児救急相談）『#8000』

東京都では、地域の保健センター等が閉庁している時間帯に、子供の健康・救急に関する相談に看護師や保健師が応じています。

でも、こんな時は迷わず 119 番！！

- 突然の激しい頭痛
- 胸が激しく痛む
- 意識がない
- 大けが



生命に関わる心臓や脳の病気は、何の前触れもなく起こることがあり、突然の発症に対する早期の通報、救急隊による適切な処置、そして早期の病院搬送は、傷病者の後遺症の軽減、早い社会復帰や救命に繋がります。

「ためらわず救急車を呼んでほしい症状(PDF)」はこちら
※救急車利用リーフレット 総務省消防庁 HP 参照

